

# プラント状況確認結果(平成25年3月19日～3月26日)

平成25年 3月 26日  
福島県原子力安全対策課

○ 平成25年3月19日～3月26日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、プラントの新たな異常はありませんでした。

また、敷地境界モニタリングポスト、発電所専用港内外海水・敷地内大気・タービン建屋付近サブドレン水中の放射性セシウム濃度には、有意な変動は見られませんでした。

## (1) プラント状況 (3月26日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 <sup>※2</sup>
原子炉 <sup>※1</sup> (核燃料)	冷却	注水量 (m <sup>3</sup> /h)	4.5	5.5	5.6	—
		圧力容器 下部温度(°C)	<u>19.9</u>	<u>33.7</u>	<u>32.8</u>	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 <sup>※3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )(A系)	1.37×10 <sup>-3</sup>	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.00 (B系) <sup>※4</sup>	0.01 (B系) <sup>※4</sup>	0.15	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	14.0	14.4	12.4	23

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm<sup>3</sup>以下である。

※4 A系は作業に伴う停止のため、B系データを記載。

## (2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(3月26日午前10時)

最小 2.5(MP-6)～最大 6.9(MP-3) マイクロシーベルト/時 →[計測地点の地図](#)

## (3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(3月25日採取分)

最小 検出限界未満(物揚場前、港湾口)～最大 55(3号機スクリーン(シルフェンス内側)) Bq/ℓ

## (4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(3月25日採取分)

5,6号機放水口北側に30m : 4.0 Bq/ℓ

1～4号機放水口から南側に1.3km : 検出限界未満 ※検出限界値は1.4 Bq/ℓ

## (5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(3月25日採取分)

西門 : 検出限界未満 ※検出限界値は約2×10<sup>-7</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

## (6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(3月25日採取分)

最小 検出限界未満(4号機)～最大 1.2(2号機) Bq/cm<sup>3</sup> ※検出限界値は0.02 Bq/cm<sup>3</sup>

【参考事項】

- ・ 3月20日 3月18日に発生した所内停電により停止していた使用済燃料プールの冷却については、次のとおり復旧した。
  - 1号機使用済燃料プール 3月19日14時20分
  - 3号機使用済燃料プール 3月19日22時43分
  - 4号機使用済燃料プール 3月19日16時13分
  - 共用プール 3月20日 0時12分
- ・ 3月25日 3月18日に発生した所内停電の原因については、3,4号機屋外仮設配電盤において、小動物(ネズミ)が電極に接近してショートし、電源盤の遮断器が作動したためと判断した。

(問い合わせ 024-521-1917)